

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	産業研究所
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

1. 各事業の運営には、学部・研究科の垣根を越えて、テーマに適材の人物を核に当てる。
2. 毎年新設する研究プロジェクトの研究員は、特定学部へ偏らないように、テーマに応じて広く学内の各部局から選ぶ。
3. 産業研究所独自の活動以外に、大学の主催する学術行事や国際交流活動についても、企画、運営を担当する。
4. 他大学や学外機関と連携するEUIJ関西事業や日中経済シンポジウム事業を毎年企画・運営する。
5. 事務職員が『産研叢書』『産研論集』編集に加わり、迅速性と明瞭なレイアウトをめざす。

○指標

1. 研究プロジェクトには、経済学部、商学部以外の代表者によるプロジェクトを創出させる。
2. 研究プロジェクトの学内研究員は、原則として3学部以上からの構成とする。
3. 大学主催行事の企画、運営を毎年2件以上担う。
4. EUIJ関西行事、EU情報センター行事を毎年5件以上行う。日中経済シンポジウムを毎年開催する。
5. 『産研叢書』は、学外者の書評（『産研論集』掲載）での肯定的評価。『産研論集』は企画論文を毎年必須に。